



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC) 分科会へのご案内 (会員による自主講座)

第11回 諏訪根自子(1920-2012)の足跡を追って(全2回)

その1 天才少女時代 滞欧時代 戦後15年のトップスター時代

「美貌の天才少女」として一世を風靡し、16歳で欧州留学、ナチス高官ゲッペルスからストラディバリウスを贈呈され、ベルリン・フィルなど各地の交響楽団との共演を果たす等、日本人で初めて国際的に活躍した。戦後帰国し、美貌のトップスターとして数々の演奏会活動をこなしてきたが、1986年68歳でのスタジオ録音を最後に演奏活動を停止し、92歳で生涯を閉じた。(詳細は分科会にて)



根自子の録音は、少女時代のSP盤がCD化され、また晩年(65歳前後)の録音も再編して2013年3月に相次いで発売された。特筆すべきは彼女の伝記(萩谷由喜子著)にも掲載されていない全盛期・29歳時のブラームスの協奏曲もNHKアーカイブスで発見され、同年10月に発売された。

またバッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ(全曲)は1984年CD化され、94年再販されたが現在絶版となっている。が、幸いなことに会員のSさんが保有しており、次回用に借用しました。

以上により根自子の残した録音源は全て揃った事になり、2回に分けて特集を企画します。

演奏曲目

前半:天才少女時代(13歳~15歳)のヴァイオリン小曲集

ペルペテウム・モビール(リース)、アンダンテ・カンタービレ(チャイコフスキー)、
セレナード(ドリゴ)、
タイスの瞑想曲(マスネー)、美しき天然(田中穂積)……以上は画像にて
ユーモレスク(ドヴォルザーク)、スーヴニール(ドルドラ)、白鳥(サン・サーンス)、
セレナード(シューベルト)、ガヴオット(バッハ)、セレナード・エスパニョル(グラズノフ)
荒城の月(滝廉太郎)、トロイメライ(シューマン)、スペイン舞曲(ファリャ)等を予定。

後半:トップスター時代 29歳 新発見の曲

ブラームス ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品77
上田 仁 指揮 東宝管弦楽団
(アセテート盤からのCD化につき音質は不良) 以上

往年の女流
名ヴァイオリニストによる
演奏を聴く

日時 / 3月22日(日) 13:30~15:30

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全13回(予定)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>